TAHITI RANGIROA Travel

MAP CLICK!

SORA
web magazine 2018.sep.vol.100

PHOTO & TEXT : YASUAKI KABII

ランギロアで出会った イルカの不思議な行動…

ダイビングで、イルカと泳ぐことのできるランギロアの海。そんな稀有な海で出会ったイルカの不思議な行動を目撃してしまった。今、注目のペンション・Les Relais de Josephine と人気安定の HOSHINO Resort Kia Ora Rangiroa に滞在して、ダイバー憧れのティプタパスに潜ってきた！

tsumi-shima ダイバーの夢をつみあげていく島 tsumishima.com
We World explorer (株)ワールドツアープランナーズ www.wtp.co.jp
© 2018 World Tour Planners Co.,Ltd. All Rights Reserved.

タヒチの世界へ！

成田空港から約10時間半のフライトで、タヒチのパペーテに着く。空港を出ると、お花のレイで出迎えられる。南国の香りが鼻腔をくすぐる。そのまま国内線に移動をしてチェックイン。ランチを空港のレストランで食べて、またフライト。今回はパペーテから、ティケハウを経由してランギロアへ。フライトタイムは約60分。空から眺めるティケハウの環礁はとても美しく、夢中になって撮影をする。お勧めは、向かって左側の窓側シート。次のランギロアまでは約30分なので、それほど高度を上げずに飛んでいく。そのために、空から見える環礁が近い。ランギロアの空港に到着。パペーテよりも少し田舎だけど、タヒチらしい自由な雰囲気が満ちる。荷物を受け取り、今回お世話になるペンションに向かった。

TAHITI RANGIROA

タヒチ・ランギロア Travel

tsumi-shima

ダイバーの夢をつみあげていく島

We World explorer

イルカが見えるペンション

TAHITI RANGIROA タヒチ・ランギロア Travel

お昼過ぎに到着し、４時ごろからのサンセットダイブの計画だったので、少し今回お世話になるペンションでのんびり、レストランの前にあるウッドデッキから海を眺めていると、ぴょんぴょんとイルカが水面からジャンプしているのが見えた。このペンション、Les Relais de Josephine は、あの有名なダイビングポイント、ティプタパスに面していて、さっき見たイルカは、ダイビングで会えるイルカたちなのだ。目も覚めるような濃い青色がペンション前に広がり、その鮮烈な青とは似つかないのんびりした時間が流れる空間。そして、そこに現れる野生のイルカ。その絶妙なコンビネーションが、遠くの島にやってきたことを実感させてくれる。Les Relais de Josephine はオススメのペンションで、緑溢れる敷地内と海岸線にバンガローが立ち並ぶ。室内の調度品は白で纏められ、天蓋付きのベッドなどがとても可愛い。今回の夕食は、前菜はお魚のお刺身。お醤油ではなく、ニンニクを混ぜたソースで頂くのだが、これまた美味しい！　そして、ホワイトソースを絡めたマイマイ（シイラ）に少し甘いジャムを添える。これもまた本当に美味しかった。食事の評判も良く、ランチは地元の人や他のリゾートのゲストもやってくる。

TAHITI RANGIROA
タヒチ・ランギロア Travel

いざ、ティプタパスへ！

初日は到着日だったので、サンセットダイブにエントリー。4時頃にダイビングセンターに向かい、準備を終えて出発。向かうのは、ティプタパスのアウトサイド。チャネルの潮がアウトゴーイングに流れているので、外洋とコーナーで楽しむダイビングとなった。エントリーして、リーフを左手に潮に乗って流れていく。バラクーダやヒメフエダイの大きな群れがリーフの上で幾つか見える。夕方、ハンティングのタイミングを狙って、イソマグロの編隊も現れる。コーナー近くで、数頭のイルカがブルーウォーターで泳いでいたとのことだったが、ブラックフィンバラクーダの群れに気を取られていて、見逃す……。でもランギロアの青い海に、たくさんの命を感じる1ダイブとなった。

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく島

ティプタパスのディープコース！

翌日の２日目は、HOSHINO Resort Kia Ora Rangiroa に移動。広い敷地内には、バランス良くヤシの木と独立したコテージが並ぶ。その余白から見える青い空が心地よい。10時にダイビングセンターに集合して、１本目のダイビング。本当はもう１本早く、８時集合のダイブが開催されていたとのこと……（笑）。南国ペースのゆっくりスタートで、向かった先は同じティプタパス。潮がインゴーイングに流れていて、大物が期待できる。今回は、２つのグループに分かれてエントリー。一つは初級者コース。最大深度は28mくらいで、コーナーでダイブしつつ大物を狙う。もう一つはディープコース。最大水深45mで、これまた大物を狙っていくコース。今回私は、ディープコースを選択。まず少し沖に向かい、外洋のブルーウォーターで潜降を開始。ガイドを先頭に素早い潜降を行う。この時に、少し遠くに３頭のイルカを発見。接近したかったが、潜降が優先なので遠くから眺めるだけにした……。下にリーフが見えてくると、グループはコンパクトにまとまったまま、チャネルクロスを始める（チャネルクロスとは、コーナーとコーナーの間にあるチャネルを渡ること）。水深は約30mほどだが、今回は少し深いところにメジロザメの群れがいたので、もう少し深度を下げる。かなりの数のメジロザメの群れに心が躍る。ガイドと近い距離で、チャネルのボトムを左に見ながら進んで行く。すると、マダラトビエイの２枚と５枚の編隊に遭遇。２枚には接近できたが、５枚は初動を失敗したのか……接近できず……（もう少し呼吸を落ち着けて行くべきだった）。そして見上げるとバラクーダの群れの中にイルカが泳いでいる。ガイドが「どうだ！」とガッツポーズを見せるが、写真を撮影したい私にとって、正直すべてが少し遠い……。それでも冷静に考えると、ファンダイブとしてすごい、大満足の舞台で泳いでいるのは間違いない。そして、ハンマーヘッドシャークが現れるエリアに到着。ガイドの指差す方向に大きなシルエットは見えるが、「きっとハンマーヘッドシャークなのだろう……」な感じ。チャネルの中を流して行っても、興奮は収まらなかった。もう１匹のハンマーヘッドシャークを目撃し、オーバーハングの下に群れるヒメフエダイの大集団にまみれる。最後は浅瀬に到着し、そこでゆっくりと減圧停止を行った。このディープコースはナイトロックスの26%を使用して、減圧停止時間が最大15分まで許される。安全管理に意識の高いTOPDIVE ならではの豪快ダイブとも言える。

バンドウイルカは、他のクジラの仲間の子どもを盗んじゃうことがあって……

お昼からの2ダイブ目もティプタパス。潮がアウトゴーイングで流れているので、アウトサイドリーフとコーナーで潜る。エントリーして、昨日と変わらないバラクーダやヒメフエダイの群れを撮影していく。でも気持ちはイルカにあり、ランギロアに来たなら、やはりイルカと遊びたい。約30分かけてコーナーに近づくと、イルカの鳴き声が聞こえ始めた。ガイドのニコが水面の方を指差す。2頭のイルカが私の前に居たゲストの前に降りてきた。私は、ゲストの後ろから必死に撮影をする。2頭のイルカはそのまま消えたが、少しコーナー付近で待っていると、ガイドのニコが海底の方に指を差した。すると1頭のイルカが、私に向かって泳いできた。ファインダーの中でどんどんと大きくなるイルカを確認しながら、夢中でシャッターを切り続ける。そして、次はニコが水面方向に指を差した。すると2頭のイルカが今度は、私の前に降りてきた。母イルカのような先頭のイルカとその胸ビレの下で泳ぐ子供だと思われるイルカ。しかし、ファインダーの中でもはっきりと確認ができるほど、その顔つきが違う。母イルカは普通のバンドウイルカの姿態。しかし、子供は鼻がぺちゃっとなっている。不思議だな、と思いながら撮影をし、ボートに上がるとニコが「あの子どもは違う種類の子供で、スチールされたんだよ」と教えてくれた。そしてダイビングセンターに戻ってガイドに聞くと、「バンドウイルカは、他のクジラの仲間の子どもを盗んじゃうことがあって、あれは、ゴンドウクジラの子どもなんです」とのこと。不思議な生態を見せてくれたランギロアの海でした！！！

TAHITI RANGIROA
タヒチ・ランギロア Travel

今回お世話になった TOPDIVE ランギロア

タヒチの多くの島で展開するダイビングセンター。安全、楽しくをモットーに、経験豊富なガイド&スタッフが集う。ランギロアには、日本人スタッフの杉本ゆかりさんがいるので、言葉の心配もなく心強い。大きなゾデアックで快適なダイビング、使用タンクが15リットルなので、エアーの消費が心配な方にも嬉しい（ナイトロックス無料）。海岸線の独立店舗と HOSHINO Resort Kia Ora Rangiroa の中にもお店がある。

TAHITI RANGIROA
タヒチ・ランギロア Travel

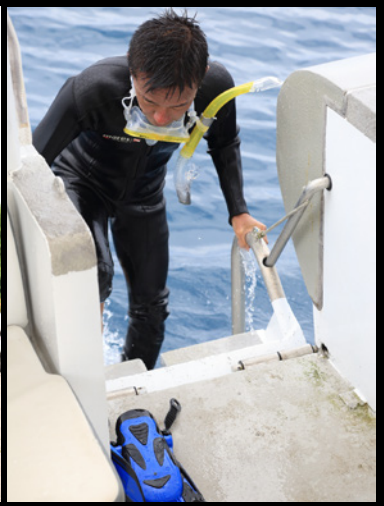
HOSHINO Resort Kia Ora Rangiroa

ランギロアを代表するラグジュアリーリゾートの HOSHINO Resort Kia Ora Rangiroa。海岸線に位置し、広い敷地内には、緑やお花も豊かで、コテージがバランス良く配置されている。特に海岸線はヤシの木と青い空、海のバランスが良く、どこを撮影しても絵になってしまうので、ついついカメラを構えてしまう。また、朝日から夕方までの光の差し込み具合が異なるので、常に南国リゾートとして輝き続けている。タヒチのシンボルでもあり、美しいラグーンに浮かぶ水上バンガローは、贅沢な休日を約束してくれる。そして広い敷地にプライベートプールなどを持つプールヴィラも、極上のリゾートライフを楽しむことができる。開放的なビーチバンガローも大人気だ。そして、敷地の中央に位置する Kia Ora ランギロアのメインダイニング「テ・ライロア」。ローカルの食材も生かしつつ、色彩豊かなフレンチを提供してくれる。味はもちろん抜群で、同時にウェイターなどの現地スタッフのホスピタリティーも海を渡る風と同じくらい、心地よい雰囲気をつくってくれる。

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく島

パペーテでドルフィンウォッチング＆スイム

ここ最近、ダイビングでタイガーシャークと出会えたり、ザトウクジラとの遭遇率がアップして、注目されるパペーテの海。今回は、海岸線にある Fluid diving center にお世話になって、ドルフィンウォッチング＆スイムを楽しんできた。ダイビングセンターに8時に集合し、フィンやマスクなどを用意して、近くの桟橋からボートで出航。約5分ほど移動したラグーン内に大きなイルカのグループが泳いでいる。最初どんな感じの出会いかな？と少し心配していたが、意外とあっさりと出会え、ゆっくり泳いでいたので、入水すると水中で出会うことができる。種類は、なんとハシナガイルカで、ハワイ以外では、なかなか水中でお目見えすることがないイルカ。これはなんともラッキー。水面から何度もジャンプする姿も見られ、思いがけず幸運な時間となった。ハシナガイルカたちは、午前中はラグーン内に居て、午後は外洋に行くとのこと。なので、ドルフィンウォッチング＆スイムは午前中のみだが、1年中見られるという。イルカが不調な場合は、スノーケリングポイントまで行き、水中散歩を楽しむ。



今回お世話になったダイビングセンター Fluid diving center

今回、イルカウォッチング＆スイムを担当してくれたのが、スキッパー・エマとアシスタントのペリーヌ。逞しくもあり、美しくもある海の女性。タイガーシャークのダイブやホエールウォッチングなども行っている。

TAHITI RANGIROA タヒチ・ランギロア Travel

ホテル タヒチ ヌイ

市街地にあるので、お土産や最後のタヒチを楽しむには最適のホテル。ルロットにもマルシェにも海浜公園にも徒歩圏内。部屋は広めのシティーホテルのようでスッキリしたインテリアで落ち着いた雰囲気。レセプションのみ wifi 可能。

tsumi-shima ダイバーの夢をつみあげていく島 We World explorer